

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	柿蔭山房公開活用事業				担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-07-16-01				担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直営	委託		
事業の開始・終了	年	月	～	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	文化財保護法、町文化財保護条例					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	町指定文化財「赤彦の家(柿蔭山房)」を適切に維持、保存し、良好な状態で次世代へ伝承させるとともに、文化財を大切に残し伝えていくことへの理解の普及と啓発を図る。					
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	利用者数(年間入館者数)	入館者の数をカウント	人	目標	200	150
				実績	270	91
達成率	135.0%	45.5%				

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
事業費	事業費 A	569 千円	4,073 千円	725 千円
	うち 会計年度任用職員人件費	人 千円	人 千円	人 千円
	正規職員人件費 B	0.33 人 2,178 千円	0.25 人 1,604 千円	0.30 人 2,025 千円
事業費合計 C (A+B)		2,747 千円	5,677 千円	2,750 千円
財源内訳	特定財源			
	国の負担	千円	千円	千円
	県の負担	千円	千円	千円
	町の借入	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円
	うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円
一般財源(町の負担)		2,747 千円	5,677 千円	2,750 千円
受益者負担率 (D/C)		0 %	0 %	0 %

【事業の評価】

区分	評価	説明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	当町が所有する指定文化財である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	法及び条例の趣旨に沿い、保護を図る一方で、定期的に建物内部を公開し、また講座等の事業を行うことで活用を図っている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか	A 適切である	内部の公開に当たっては、シルバーへ開閉及び管理を委託することで業務の効率化を図っている。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	D 目標達成は 困難	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛及び事業の中止により大きく影響を受けた。

総合評価	手法改善	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ガイドライン等に沿った感染対策を施す中で、できる範囲で事業を再開していく。
	手法改善の内容	感染対策の徹底、感染状況に応じた企画内容の検討及び参加者数等の制限
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡充	コロナ禍で拡充措置を図れなかったため。

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	博物館の維持管理				担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-06-10-01				担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託		
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)	
根拠法令等の名称	町博物館条例、博物館法					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	文化遺産の伝承施設であり、地域の歴史文化の学習拠点でもある諏訪湖博物館・赤彦記念館を適切に管理するとともに、知りたいことを気軽に知ることができる施設として皆さんから支持されるよう、維持していきます。					
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		維持管理に係る経費であることから、指標設定は困難		目 標		
				実 績		
				達成率		

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	8,602 千円		8,244 千円		14,915 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.27 人	1,782 千円	0.30 人	1,925 千円	0.35 人	2,362 千円
事業費合計 C (A+B)		10,384 千円		10,169 千円		17,277 千円	
財源内訳	特定財源	千円		千円		千円	
	国の負担	千円		千円		千円	
	県の負担	千円		千円		千円	
	町の借入	千円		千円		千円	
	その他	千円		千円		5,346 千円	
	うち 使用料・手数料 D	642 千円		398 千円		1,278 千円	
一般財源 (町の負担)		10,384 千円		10,169 千円		11,931 千円	
受益者負担率 (D/C)		6.183 %		3.914 %		7.397 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B	町以外では行えない 文化遺産を保存、伝承する施設として、また博物館法に基づく登録博物館であることから、直営による運営は必須である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である 教育基本法の下、博物館法及び町博物館条例に沿い、公平、適正に維持管理している。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか	B	検討の余地がある 平成5年の竣工後、空調設備を中心に経年劣化が顕著となっており、修繕費用が増加の一途である。また省エネやバリアフリー等現在求められる建築様式に合っていない。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B	維持管理に係る経費であることから、指標設定は困難。

総合評価	現状維持	早期改善に努めるとともに、計画的な更新作業を進めていく。
	 	
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	地域の文化遺産の保存伝承施設として、また学習施設として、適切に維持管理を行っていく。

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	博物館の活動				担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-06-12-01・14-01				担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託	その他	
事業の開始・終了	年	月	～	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	町博物館条例、博物館法					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	地域住民との協働、観光部署や関係団体との連携により、展覧会、体験教室、史跡散歩及び各種講座の事業展開を図ることで、地域住民が地域の歴史文化への理解をさらに深め、悠久の歴史を有するこの地を自慢に思ふ心をさらに育み、当町を訪れる多くの方に魅力を伝え、歴史文化を体感していただく。					
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目 標	5,000	5,000
				実 績	3,571	1,890
				達成率	71.4%	37.8%

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	696 千円		626 千円		1,252 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.33 人	2,178 千円	0.30 人	1,925 千円	0.35 人	2,362 千円
事業費合計 C (A+B)		2,874 千円		2,551 千円		3,614 千円	
財源内訳	特定財源	千円		千円		千円	
	国の負担	千円		千円		千円	
	県の負担	46	千円	千円		千円	
	町の借入	千円		千円		千円	
	その他	千円		千円		千円	
	うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源 (町の負担)		2,828 千円		2,551 千円		3,614 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である
効率性	B	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 検討の余地がある
達成度	D	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標達成は困難

総合評価	手法改善	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ガイドライン等に沿った感染対策を施す中で、できる範囲で事業を再開していく。
	手法改善の内容	感染対策の徹底、感染状況に応じた企画内容の検討及び参加者数等の制限
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡 充	コロナ禍で拡充措置を図れなかったため。

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	博物館資料の保存整理			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-06-16-01			担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	町博物館条例、博物館法、町文化財保護条例、文化財保護法				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	地域に残され、伝えられてきた「ものごと」を貴重な「文化遺産」として収集し、整理保存することで次世代へ引き継いでいくとともに、展示や事業等で活用できるよう、調査研究を通じて魅力を高めていく。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	資料整理数	資料カードを起票した数	枚	目 標	700	350	1,000
				実 績	290	1,268	
				達成率	41.4%	362.3%	

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算		
事業費	事業費 A	62 千円		87 千円		67 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円	
	正規職員人件費 B	0.32 人	2,112 千円	0.30 人	1,925 千円	0.35 人	2,362 千円	
事業費合計 C (A+B)		2,174 千円		2,012 千円		2,429 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円	
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円	
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		2,174 千円		2,012 千円		2,429 千円		
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	博物館法の趣旨に沿って行うもの。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	所有者の御厚意により収集が可能であり、整理保存及び調査研究を通じて事業や情報として利用者に還元している。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか	A 適切である	博物館実習や中学生の職場体験において実際に資料の取扱いを体験する中で整理作業の一助としている。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	A 目標値以上 である	重点業務として進めていたが、本年度から新たに会計年度任用職員を任用し資料整理作業を担当していただいたことで整理数が飛躍的に伸びた。

総合評価	現状維持	継続して進めることで所蔵資料のデータベース化を図る。
	現状維持	
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	星ヶ塔遺跡の管理				担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-07-14-01				担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託		
事業の開始・終了	年	月	～	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	文化財保護法、町文化財保護条例					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国史跡「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」を適切に維持、保存し、良好な状態で次世代へ伝承させるとともに、文化財を大切に残し伝えていくことへの理解の普及と啓発を図る。					
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		国指定文化財の維持保存に係る必要経費であることから指標設定は困難		目 標		
				実 績		
				達成率		

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	132 千円		76 千円		180 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.12 人	792 千円	0.25 人	1,604 千円	0.30 人	2,025 千円
事業費合計 C (A+B)		924 千円		1,680 千円		2,205 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	
		町の借入	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	
一般財源 (町の負担)		924 千円		1,680 千円		2,205 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	A	法律で義務付けられている 国有林内に所在していることから、文化財保護法の規定により当町が管理していかなければならない。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である 国有林内に所在しているため、活用については制限がある。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である 関係各法の下、計画性と効率性が求められる。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)		

総合評価	現状維持	法の趣旨に基づき、適切な維持管理と保存を図っていく。 制限はあるものの、できるだけ多くの方に遺跡を体感していただけるよう現地見学会の実施を図っていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	宿場街道資料館の維持管理				担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-06-18-01				担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託		
事業の開始・終了	年	月	～	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	町博物館条例、博物館法					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	江戸時代の下ノ諏訪の学習施設として、また明治7年建築の歴史的建造物として、適切に管理するとともに、知りたいことを気軽に知ることができる施設として皆さんから支持されるよう、維持していきます。					
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目 標	10,000	11,000
				実 績	12,796	8,443
				達成率	128.0%	76.8%

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	5,577 千円		630 千円		3,247 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.33 人	2,178 千円	0.20 人	1,283 千円	0.20 人	1,350 千円
事業費合計 C (A+B)		7,755 千円		1,913 千円		4,597 千円	
財源内訳	特定財源						
	国の負担	千円		千円		千円	
	県の負担	千円		千円		千円	
	町の借入	千円		千円		千円	
	その他	千円		千円		千円	
	うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源 (町の負担)		7,755 千円		1,913 千円		4,597 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である
達成度	D	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標達成は困難

総合評価	手法改善	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ガイドライン等に沿った感染対策を施す中で、できる範囲で事業を再開していく。
	手法改善の内容	感染対策の徹底、感染状況に応じた企画内容の検討及び参加者数等の制限
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡 充	コロナ禍で拡充措置を図れなかったため。

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	今井邦子文学館の維持管理				担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-06-20-01				担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直営	委託		
事業の開始・終了	年	月	～	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	町博物館条例、博物館法					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	女性だけの短歌結社「明日香社」を創始した今井邦子を語り継いでいく施設として、また短歌や女性活動の学習施設として、適切に管理するとともに、知りたいことを気軽に知ることができる施設として皆さんから支持されるよう、維持していきます。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目標	4,000	4,000	4,000
				実績	2,835	980	
				達成率	70.9%	24.5%	

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	1,832 千円		1,758 千円		1,958 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.21 人	1,386 千円	0.20 人	1,283 千円	0.20 人	1,350 千円
事業費合計 C (A+B)		3,218 千円		3,041 千円		3,308 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		3,218 千円		3,041 千円		3,308 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区分	評価	説明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	地域における歴史文化の学習施設として、また文化遺産を活かしたまちづくりの拠点施設として、直営による運営が必要である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	教育基本法の精神の下、博物館法及び町博物館条例に沿い、公平、適正に維持管理している。なお、当館の入館料は利用促進の観点から無料としている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか	A 適切である	早期修繕を図ることで歴史的建造物を適正に維持している。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	D 目標達成は 困難	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛及び事業の中止により大きく影響を受けた。

総合評価	手法改善	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ガイドライン等に沿った感染対策を施す中で、できる範囲で事業を再開していく。
	手法改善の内容	感染対策の徹底、感染状況に応じた企画内容の検討及び参加者数等の制限
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡充	コロナ禍で拡充措置を図れなかったため。

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	伏見屋邸の維持管理				担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-06-22-01				担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直営	委託		
事業の開始・終了	年	月	～	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	町博物館条例、博物館法					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国登録有形文化財「旧伏見屋邸店舗兼主屋及び南北土蔵」を適切に維持、保存し、良好な状態で次世代へ伝承させるとともに、文化財活用とおもてなしによる交流施設として、皆さんから親しまれるよう、維持していきます。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目標	10,000	10,000	11,000
				実績	9,873	3,932	
				達成率	98.7%	39.3%	

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
事業費	事業費 A	3,185 千円	3,055 千円	3,376 千円
	うち 会計年度任用職員人件費	人 千円	人 千円	人 千円
	正規職員人件費 B	0.17 人 1,122 千円	0.20 人 1,283 千円	0.20 人 1,350 千円
事業費合計 C (A+B)		4,307 千円	4,338 千円	4,726 千円
財源内訳	特定財源			
	国の負担	千円	千円	千円
	県の負担	千円	千円	千円
	町の借入	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円
	うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		4,307 千円	4,338 千円	4,726 千円
受益者負担率 (D/C)		0 %	0 %	0 %

【事業の評価】

区分	評価	説明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	地域と利用者をつなぐ交流施設として、また文化遺産を活かしたまちづくりの拠点施設として、直営による運営が必要である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	教育基本法の精神の下、博物館法及び町博物館条例に沿い、公平、適正に維持管理している。なお、当館の入館料は利用促進の観点から無料としている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか	A 適切である	早期修繕を図ることで歴史的建造物を適正に維持している。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	D 目標達成は 困難	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛及び事業の中止により大きく影響を受けた。

総合評価	手法改善	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ガイドライン等に沿った感染対策を施す中で、できる範囲で事業を再開していく。
	手法改善の内容	感染対策の徹底、感染状況に応じた企画内容の検討及び参加者数等の制限
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡充	コロナ禍で拡充措置を図れなかったため。

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	文化財保護事業				担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-07-10-01				担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直営	委託		
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)					
根拠法令等の名称	文化財保護法、町文化財保護条例					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国天然記念物「八島ヶ原高層湿原」ほか指定文化財を適切に維持、保存し、良好な状態で次世代へ伝承させるとともに、歴史文化を体感できる事業を通じて文化財を大切に残し伝えていくことへの理解の普及と啓発を図る。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	町指定文化財の件数	指定により保護し、焼失等を防ぐことで維持し続けている指定文化財の件数をカウント	件	目標	55	55	55
				実績	55	55	
				達成率	100.0%	100.0%	

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	2,305 千円		2,444 千円		5,053 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.22 人	1,452 千円	0.30 人	1,925 千円	0.35 人	2,362 千円
事業費合計 C (A+B)		3,757 千円		4,369 千円		7,415 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	850 千円	千円
	うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源 (町の負担)		3,757 千円		4,369 千円		6,565 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区分	評価	説明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B 町以外では行えない	文化財保護法の趣旨の下、適切な保護と活用を図るもの。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	所有者の御意思を尊重する中で、また町文化財専門委員ほか有識者の御意見を聴く中で、文化財保護行政を遂行している。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	文化財パトロール、文化財現況調査等を通じて効率的に劣化状況等を把握するとともに、早期修繕等の保護措置を図っている。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B 目標値どおりである	火災等による滅失はなかった。なお、新たな指定物件はなかった。

総合評価	現状維持	法の趣旨に基づき、適切な維持管理と保存を図っていく。 一方で、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、多くの方に文化財にふれ、また体感いただけるよう、ガイドライン等に沿った感染対策を施すことで事業展開を再開していく。
	拡充	コロナ禍で拡充措置を図れなかったため。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)		

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	七曜星社蔵の維持管理				担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-06-24-01				担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託		
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)	
根拠法令等の名称	町博物館条例、博物館法					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	地域における製糸業興隆の面影を残す歴史的建造物として適切に維持、保存し、良好な状態で次世代へ伝承させるとともに、まち歩きのリフレッシュ施設として皆さんから親しまれるよう、維持していきます。					
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		無人施設であることから利用者を指標とすることができない		目 標		
				実 績		
				達成率		

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	19 千円		22 千円		22 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.32 人	2,112 千円	0.20 人	1,283 千円	0.20 人	1,350 千円
事業費合計 C (A+B)		2,131 千円		1,305 千円		1,372 千円	
財源内訳	特定財源	千円		千円		千円	
	国の負担	千円		千円		千円	
	県の負担	千円		千円		千円	
	町の借入	千円		千円		千円	
	その他	千円		千円		千円	
	うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源 (町の負担)		2,131 千円		1,305 千円		1,372 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない 地域と利用者をつなぐ交流施設として、また文化遺産を活かしたまちづくりの拠点施設として、直営による運営が必要である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である 教育基本法の精神の下、博物館法及び町博物館条例に沿い、公平、適正に維持管理している。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である 早期修繕を図ることで歴史的建造物を適正に維持している。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)		

総合評価	現状維持	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ガイドライン等に沿った感染対策を施すことで事業展開を再開していく。
	(評価が変わった場合はその理由)	現状維持
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	(新)星ヶ塔遺跡発見100周年記念事業				担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-07-18-01				担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直営	委託	補助	
事業の開始・終了	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)					
根拠法令等の名称	文化財保護法、町文化財保護条例					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国史跡「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」が発見されてから100年を迎えることから、大昔における、黒曜石の採掘跡としての貴重性と一大供給地であ田希少性をPRすることで、町内外を問わず多くの方に同遺跡の価値を知っていただき、次世代へ大切に残し伝えていく。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	事業参加者数	企画展、トークショー、縄文体験、遺跡現地見学会の参加者数をカウント	人	目標		2,580	
				実績		2,255	
				達成率		87.4%	

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	
事業費	事業費 A	千円	2,396 千円	千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人 千円	人 千円	人 千円	
	正規職員人件費 B	人 0 千円	0.50 人 3,208 千円	人 0 千円	
事業費合計 C (A+B)		0 千円	5,604 千円	0 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円
		県の負担	千円	1,706 千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円
	うち 使用料・手数料 D	千円	3 千円	千円	
一般財源 (町の負担)		0 千円	3,898 千円	0 千円	
受益者負担率 (D/C)		#DIV/0!	0.054 %	#DIV/0!	

【事業の評価】

区分	評価	説明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	文化財保護法の趣旨に沿って行うもの。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	広く興味のある方に来ていただくよう募集を行い、また教育的観点から必要最低限の負担とした。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか	A 適切である	生涯学習や観光など関係する各部署及び関係団体と連携することで、効率化を図り、内容の濃い事業にできた。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	C 目標値以下である	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う参加者数の制限により、目標値は下回ったが、次回参加の希望や資料提供等の要望が多くあった。

総合評価	廃止	記念事業としては終了するが、見学会については継続して実施していく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)		